



“JIMI NI SUGOI” FUKUI
地味にすごい、福井

マイスター・ハイスクールで描く 福井の地域人材育成デザイン

R8.1.30

福井県教育庁 高校教育課

福井県の職業系高校は？

坂井高校(農工商家)

福井商業高校(商)

科学技術高校(工)

福井農林高校(農)

武生商工高校(工商)

奥越明成高校(工商家福)

敦賀高校(普/商)

敦賀工業高校(工)

若狭高校(普/水)

美方高校(普/家)

若狭東高校(農工商)

11校

農業3/工業6/商業6
水産1/家庭3/福祉1



福井県の職業系高校は？

坂井高校(農工商家)

福井商業高校(商)

科学技術高校(工)

福井農林高校(農)

武生商工高校(工商)

奥越明成高校(工商家福)

敦賀高校(普/商)

敦賀工業高校(工)

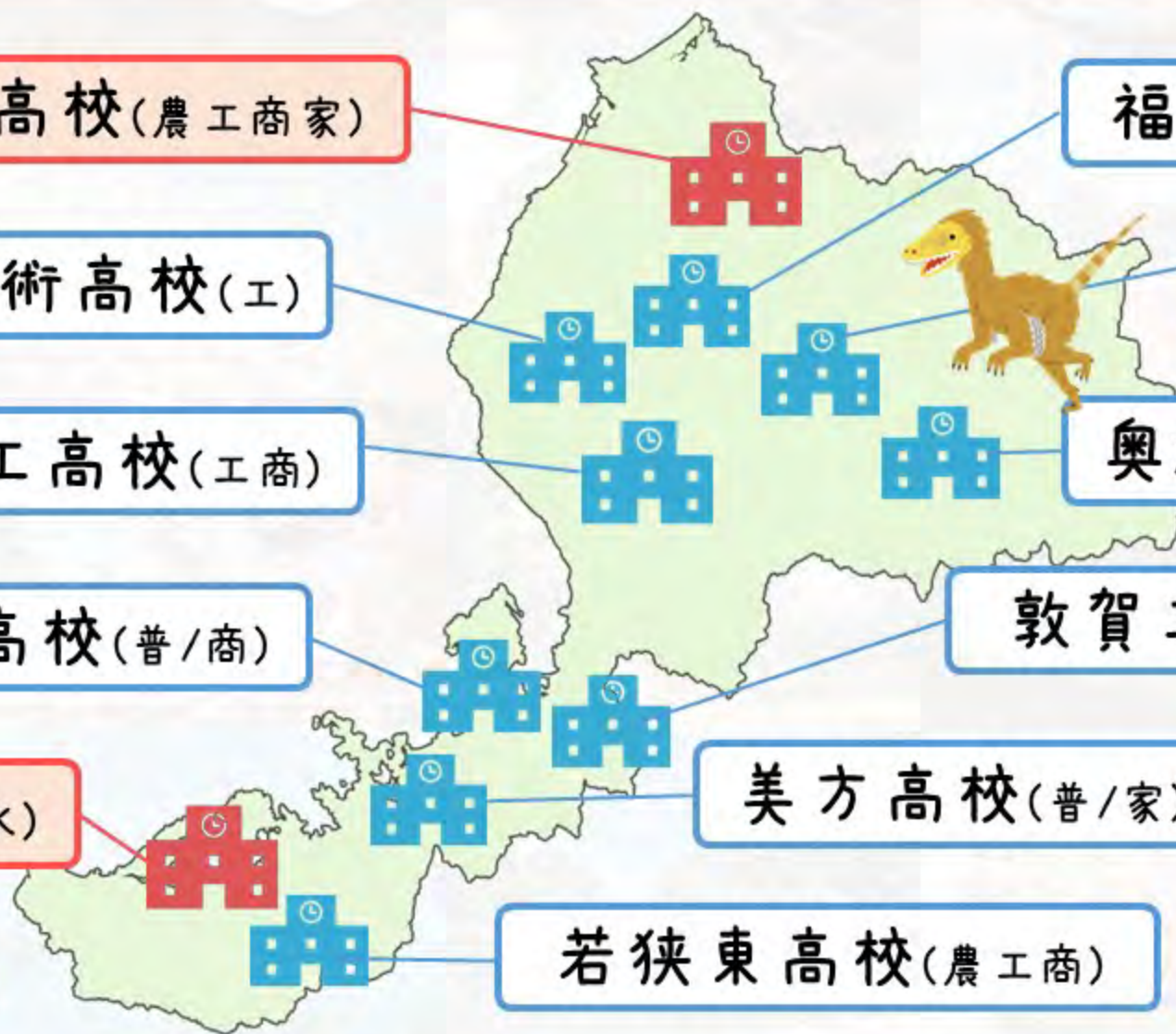
若狭高校(普/水)

美方高校(普/家)

若狭東高校(農工商)

R3~R5

MHS事業指定校



福井県の職業系高校は？

坂井高校(農工商家)

福井商業高校(商)

科学技術高校(工)

福井農林高校(農)

武生商工高校(工商)

奥越明成高校(工商家福)

敦賀高校(普/商)

敦賀工業高校(工)

若狭高校(普/水)

美方高校(普/家)

若狭東高校(農工商)

2校のモデル校
先進的取組

MHS 事業指定校(R3~R5)

坂井高校(農工商家)

組織

三村友男 CEO

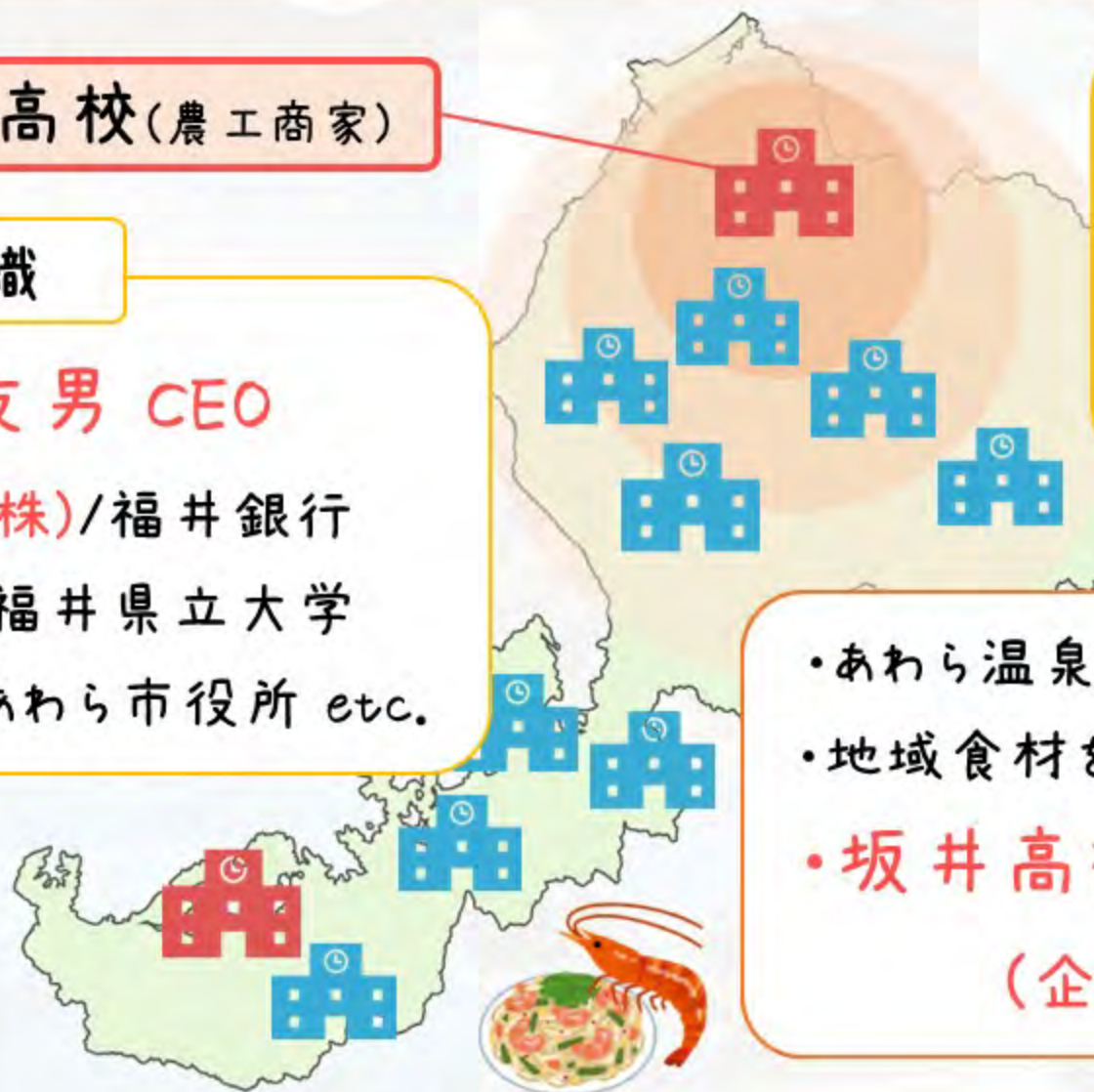
前田工織(株)/福井銀行
福井大学/福井県立大学
坂井市役所/あわら市役所 etc.

R6~7 拠点校

MHS 普及促進事業において
手本となる先進的取組の
モデル校の役割

成果

- ・あわら温泉街アプリ開発(企業/自治体)
- ・地域食材を活用したレシピ(自治体) etc.
- ・坂井高校コンソーシアムの設立
(企業/大学/自治体)



MHS 事業指定校(R3~R5)

組織

青海忠久 CEO

ふくい水産振興センター

小浜市役所/福井県立大学

小浜海産物(株)/(一財)うみから

(株)まちづくり小浜 etc.

若狭高校(普/水)



R6~7 実質は拠点校

MHS 普及促進事業において

手本となる先進的取組の

モデル校の役割

成果

- ・海洋プラスチックごみの活用(企業/大学)
- ・宇宙鯖缶の商品化(企業/大学) etc.
- ・共育パートナーシップの構築
(自治体/企業/大学)

MHS事業の拠点校(R6~R7)

R6~7 拐点校

MHS普及促進事業において 成長するモデル校の役割

武生商工高校(工商)

~R6

商業キャンパス
工業キャンパス
※約6km, 車約15分



R7~ 1つのキャンパス



商業×工業

カリキュラム開発

x

産業界と連携した教育活動の充実

福井県内普及促進のイメージ

坂井高校(農工商家)

福井商業高校(商)

科学技術高校(工)

福井農林高校(農)

武生商工高校(工商)

奥越明成高校(工商家福)

敦賀高校(普/商)

敦賀工業高校(工)

若狭高校(普/水)

美方高校(普/家)

若狭東高校(農工商)

3校のモデル校の
知見やノウハウを
11校で共有

福井県立坂井高等学校 「マイスター・ハイスクール事業」および 「坂井コンソーシアム」の活動について ～持続可能な協働体制に向けて～



ホームページ



インスタグラム

福井県立坂井高等学校進路支援部
コンソーシアム事務局長
永田 卓裕

発表の流れ

1. 坂井高校について
2. 学科・コースを超えた探究的な学び
3. 「坂井高校コンソーシアム」の活動
4. 「学びに向かう指標」坂井高校スタンダードについて
5. 今後に向けて

坂井高校について



- 平成26年(2014)創立
- 4学科8コース
- 3学年 全24クラス
- 生徒数 約672人
- 部活動 運動部14部
文化部15部

農業

食品

機械

自動車

電気

情報システム

ビジネス

生活デザイン

「自主」

自ら考え、正しく判断し、
主体的に行動できる態度を育成

「協働」

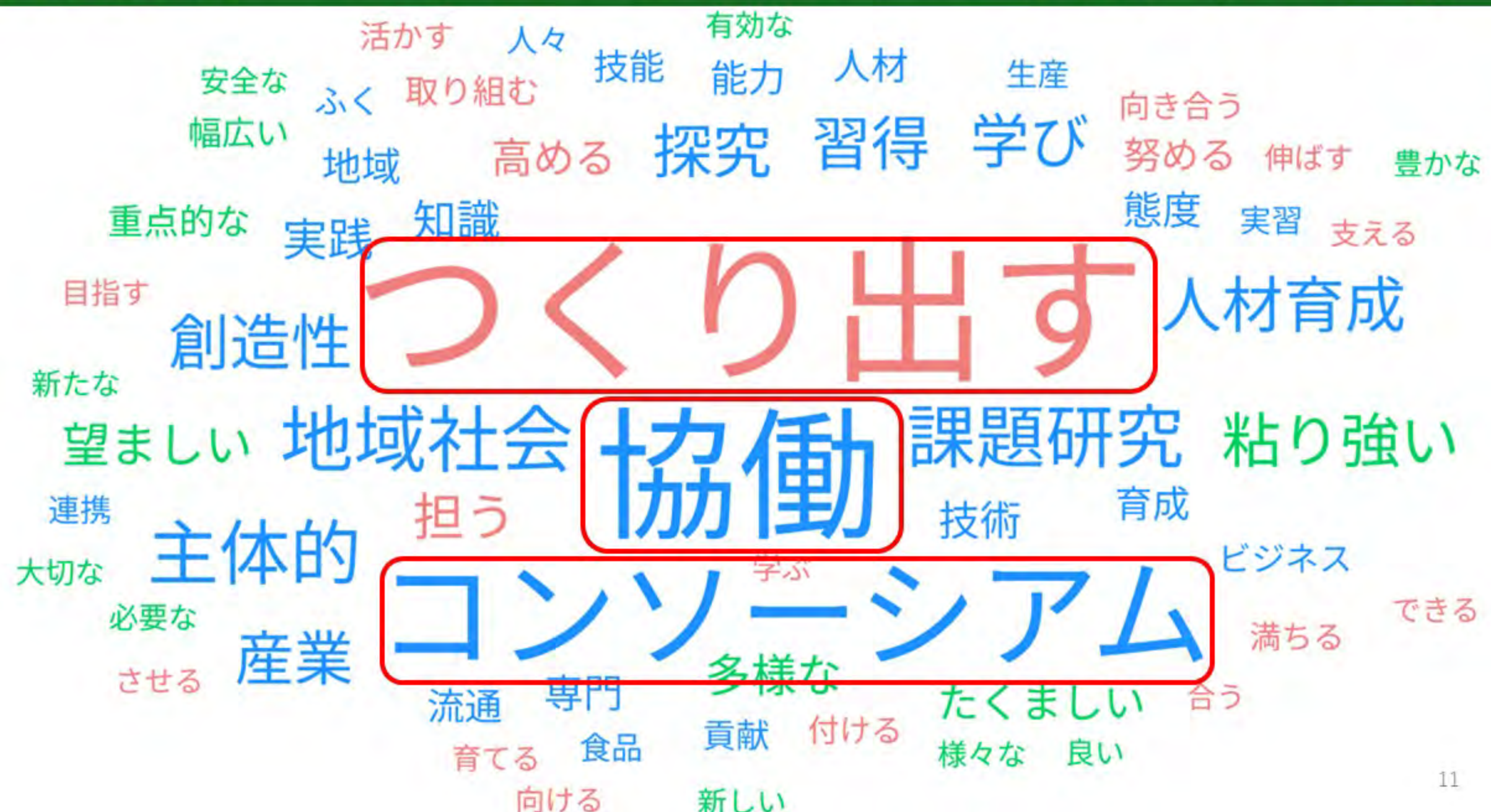
互いの能力や特性を尊重し、
ともに高め合う態度を育成

「創造」

習得した知識技術を活かして、
新たな価値をつくり出すことが
できる能力を育成



坂井高校スクール・ポリシー テストマイニング結果（スコア順）



坂井高校マイスター・ハイスクール事業について

目 標

- 地域の課題と地元産業の価値を理解し、持続可能な次世代の地元産を担う人材の育成
- 産学官との連携を強化した総合産業高校の新しい在り方の創造

特色ある取組み

- ① 学科・コースを超えた探究的な学び
- ② 「坂井高校コンソーシアム」での活動

持続可能な協働体制に向けて

これまでの重点事項

I 「社会に近い」学校の実現

- 社会人として生きる力の育成・社会実装を前提とした創造的な学び
- いつでも生徒が地域に飛び出し、いつでも地域が学びに入れる学校

II Win-Winの関係性を構築

- 互いに無理せず、必要に応じて声をかけ合い協力し合う関係性
- ⇒ 「お金があるから」・「やらなきゃいけないから」では続かない

III 学校と地域が対話する機会の保証

- 地域の大人・教員・生徒が対等な立場で対話し思いやビジョンを共有
- ⇒ 最終的には人と人とのつながりを大切に（元々の関係性を尊重）

2. 学科・コースを超えた探究的な学び

「ふくいの産業」(1年生)

○コース間授業

自分のコース以外の内容や考え方に
触れ多角的に考える視点を身に着けよう！

👉 食品コースの生徒が機械コースの授業を体験中



どうやって
より高くて丈夫な
仕組みができるかな？

○地域企業による出前・協働授業



会社にはどんな部署がある？

どんな人生が理想的？



地元にこんな技術を持った
企業があるのか！！



2. 学科・コースを超えた探究的な学び

地域・コース間連携型の課題研究(2～3年生)

地元食材の食品ロス削減

生活デザイン
コース

売れ残った地元食品を
活用したレシピ開発

情報システム
コース

AIを活用して
売れ残り食品を分析

坂井地域
交流センター
「いねす」

地元野菜の
売れ残りに悩む



作成したレシピを販売所に贈る



販売されている野菜を活用したレシピ



AIで野菜を識別するシステムを制作



販売所でのフィールドワーク

地域・コース連携で深まる
探究的学びのストーリー

持続可能な協働体制に向けて

I 「社会に近い」学校の実現

- 社会人として生きる力の育成・社会実装を前提とした創造的な学び
- いつでも生徒が地域に飛び出し、いつでも地域が学びに入れる学校

現在の重点事項

II Win-Winの関係性を構築

- 互いに無理せず、必要に応じて声をかけ合い協力し合う関係性
- ⇒ 「お金があるから」・「やらなきゃいけないから」では続かない

III 学校と地域が対話する機会の保証

- 地域の大人・教員・生徒が対等な立場で対話し想いやビジョンを共有
- ⇒ 最終的には人と人とのつながりを大切に（元々の関係性を尊重）

3.「坂井高校コンソーシアム」

【コンセプト】

坂井地区のより良い未来（Well-Being）の実現とそれを担う人材育成のために、坂井高校と地元企業・自治体・研究機関等が協働し、より良い教育・研究活動を実現するためのプラットフォーム

【主な活動内容】

- ① 「ふくいの産業」での協働授業（1年生）
- ② 「課題研究」への協力（2・3年生）
課題研究テーマ提起・協働研究・課題研究交流会・成果発表会への参加
- ③ 企業訪問研修の受け入れ（1・2年生）
- ④ 学校祭での企業ブースの設置（10月）
- ⑤ 坂井高校合同研修会への参加（6月・1月）

坂井高校コンソーシアム

～校内とコンソーシアムとの連携体制～

人材の育成



人格の育成



課題研究を中心とした連携

坂井高校

進路支援部
探究的な学習推進リーダー

コンソーシアム事務局

MHS普及促進事業・ふくいの産業・各種発表会・教員研修会等の企画・運営

コンソーシアム担当教員(各コース1名)

農業

食品

機械

自動車

電気

情報

ビジ

生活

コースごとに「課題研究」の企画・運営

キャリアデザイン関連の連携

校務分掌

PTA

3.「坂井高校コンソーシアム」

コンソーシアムの自走化に向けて

「コンソーシアム事務局」を進路支援部内に移動

求人等でやり取りのある企業に対面で説明

各企業に、無理なく有益な活動に参加を依頼

Win-Winの関係をベースとした
多様性に富んだコンソーシアムへ



坂井高校コンソーシアム

～「私」「私たち」のWell-Beingを共創し実現させるコミュニティ～

坂井高校コンソーシアム（以下コンソーシアム）は、坂井地区のより良い未来（Well-Being）の実現とそれを担う人材育成のために、坂井高校と地元企業・自治体・研究機関等が協働し、より良い教育・研究活動を実現するためのプラットフォームです。私たちの活動目的にご理解いただき、よりよい教育・社会の実現のために共に考え、活動いただける会員を募集しています。

〇連携体制



〇主な活動内容

- ① 各コースの「課題研究」への協力（2・3年生）
- ② 「ふくいの産業」での出前・協働授業（1年生）
- ③ 企業訪問研修の受け入れ（2年生コースごとに実施）
- ④ 課題研究交流会（9月）・成果発表会（1月）への参加（3年生）
- ⑤ 学校祭での企業ポスターの展示（10月）
- ⑥ 企業からの課題提起（実社会の課題の探究）
- ⑦ 運営委員会
- ⑧ 会員総会および会員・坂井高校合同研修会

※各活動については、事務局より事前に案内させていただきます。

〇参加申込み

申込みフォームにご回答ください。
なお、申込み以外にも不明な点等ありましたら
右の担当までお問い合わせください。



参加申込みフォーム

〇活動の様子（R6年度）



〇お問い合わせ

坂井県立坂井高等学校
進路支援部 コンソーシアム事務局
TEL：0776-66-0268(代表)

「坂井高校コンソーシアム」
普及促進のためのチラシ
（坂井高校を訪れた企業に配布） 19

主なコンソーシアム関連の行事の参加企業推移

日 時	内 容	参加企業	
		R7年度	R6年度
6月27日(金)	第1回運営委員会・合同研修会	20名	14名
9月24日(水)	課題研究交流会	19名	5名
10月21日(火)	文化祭での企業ブース設置	10社	4社
1月23日(金)	課題研究発表会・第2回合同研修会	30名	10名

※参加予定数12/26現在



合同研修会(企業・教員・生徒による対話)



合同研修会(企業・教員・生徒による対話)



文化祭での企業ブース(ワークショップ)



課題研究交流会(地域企業からも参加)

令和7年度第1回コンソーシアム合同研修会

R7年6月27日(金)

目 的

1. 坂井高校コンソーシアムが目指すビジョンを共有
2. 生徒・教員・地域企業がフラットな立場で対話し学び合う場の創造
3. 対話に関する資質・能力の習得

参加者

○坂井高校コンソーシアム会員：**20名**

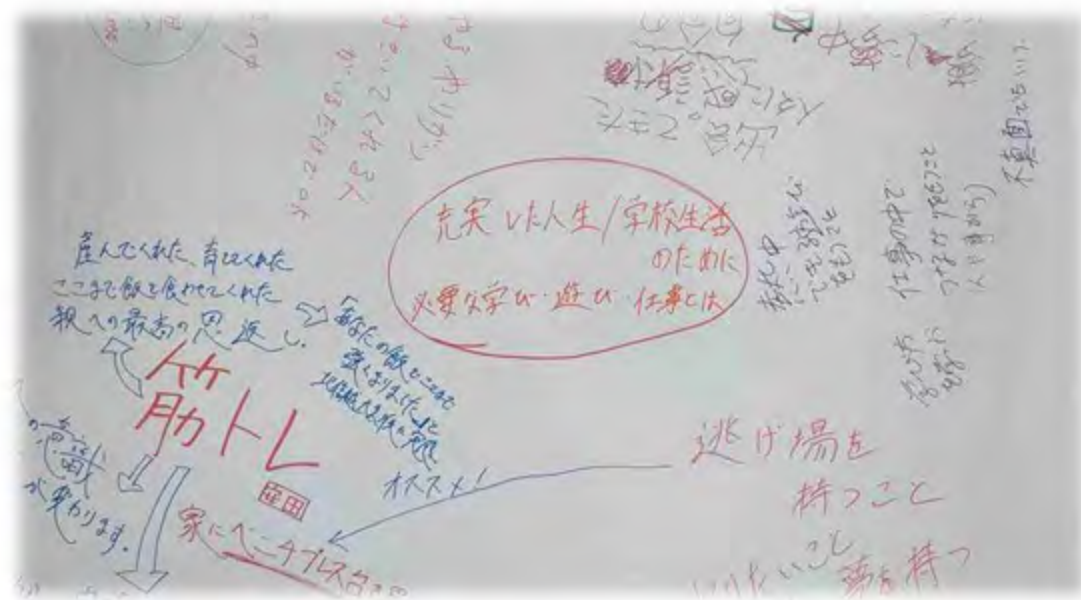
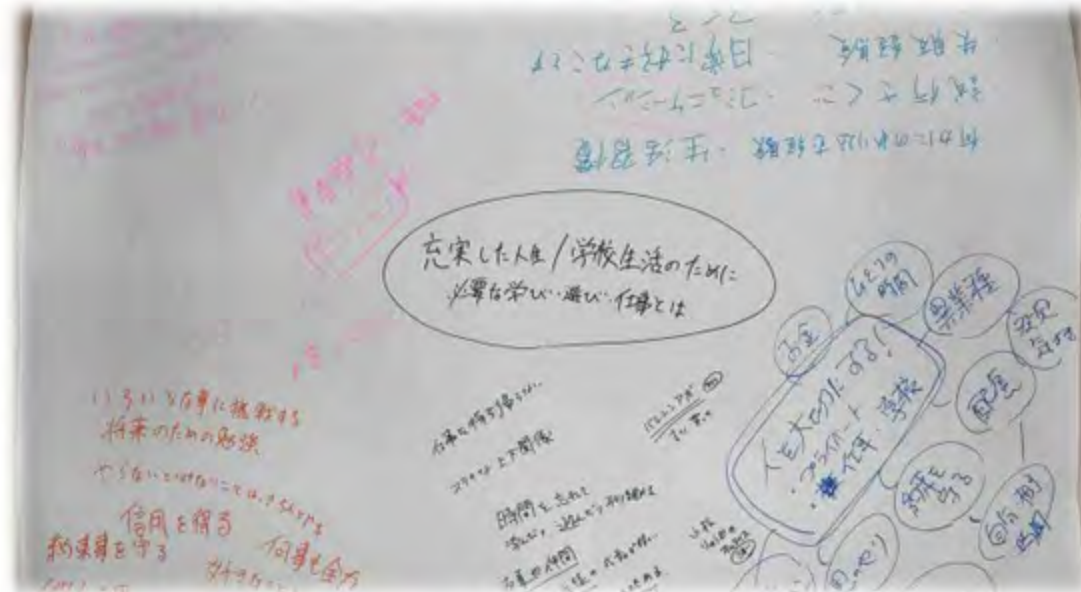
○坂井高校生徒：**24名**

○坂井高校教員：**23名**

○福井県教育委員会・県内職業系高校教員：**6名**

合計73名

「充実した人生／学校生活のために必要な学び・遊び・仕事とは」



ふり返りアンケートよりⅠ

参加者全体の実感

- ・回答者の98.7%が「安心して対話に参加できた」と実感(n=47名)

生徒の感想より

- ・自分が知らない素敵な企業が地元がたくさんあることに驚いた！
- ・色々な立場の人と話す経験から、身の回りの人とのかかわり方が変化した

※継続的に合同研修会に参加した経験から

地元企業の方の感想より

- ・社会人にも必要なスキルを再認識する良い機会になった。
- ・これまでの経験が自分を作っていることに改めて気づきました。

4.「学びに向かう指標」坂井高校スタンダードについて

「坂井高校学びに向かう指標」

坂井高校生が3年間で身に着けるべき
資質・能力を、校訓である「自主」・「協
働」・「創造」に基づきて分類し、ルーブ
リックにまとめたもの



毎学期末に各生徒が回答

自己評価(ABCD)+ふり返し(記述)

「学びに向かう指標」坂井高校スタンダード～7つの枠持～

	自主(人への向上のために)			協働(社会の一員となるために)		創造(夢が生きるために)	
	学びに向かう力	実践する力	もたらす力	助け合う力	ともにつくる力	基礎学力	必要能力・技能
	授業	清掃	挨拶	グループ活動	特活・行事	GTZ	資格・検定
A	この日に学ぶことをあらかじめ知り、考えながら授業に参加することができる。	自分の考えや疑問を述べられ、質問を返すことができる。	自分だけでなく、自分の方から適切な言葉で挨拶をすることができる。	自分の役割をしっかりと果たしている。	グループ活動において、自分の役割をしっかりと果たし、意見を述べ、意見を聞き、意見を尊重することができる。	基礎学力テストA7～B3以上	コースと検定とされているものに合格し、高いレベルのものにも挑戦することができる。
B	授業に参加し、考えながら学ぶことができる。	自分の考えや疑問を述べられ、質問を返すことができる。	自分だけでなく、自分の方から適切な言葉で挨拶をすることができる。	自分の役割をしっかりと果たしている。	グループ活動において、自分の役割をしっかりと果たし、意見を述べ、意見を聞き、意見を尊重することができる。	基礎学力テストC1～C3以上	コースと検定とされているものに合格し、高いレベルのものにも挑戦することができる。
C	授業に参加し、考えながら学ぶことができる。	自分の考えや疑問を述べられ、質問を返すことができる。	自分だけでなく、自分の方から適切な言葉で挨拶をすることができる。	自分の役割をしっかりと果たしている。	グループ活動において、自分の役割をしっかりと果たし、意見を述べ、意見を聞き、意見を尊重することができる。	基礎学力テストD2～D1+	コースと検定とされているものに合格し、高いレベルのものにも挑戦することができる。
D	授業に参加し、考えながら学ぶことができる。	自分の考えや疑問を述べられ、質問を返すことができる。	自分だけでなく、自分の方から適切な言葉で挨拶をすることができる。	自分の役割をしっかりと果たしている。	グループ活動において、自分の役割をしっかりと果たし、意見を述べ、意見を聞き、意見を尊重することができる。	基礎学力テストD3～D3+	コースと検定とされているものに合格し、高いレベルのものにも挑戦することができる。

坂井高校生としての目標を達成するにはさらなる努力が必要である(要努力)

坂井高校HPから閲覧・ダウンロード可能

4.「学びに向かう指標」坂井高校スタンダードについて

回答結果より

現3年生の肯定回答率(=A+B)の推移

		1年次	2年次	3年次
自主	学ぼうとする力(授業)	87.0%	91.9%	79.7%
	貢献する力(清掃)	96.1%	96.0%	94.9%
	礼節の力(挨拶)	91.3%	90.2%	84.7%
協働	助け合う力(グループ活動)	87.0%	91.9%	89.8%
	ともにつくる力(特活・行事)	90.8%	91.3%	92.4%
創造	必要な技術・技能(資格・検定)	74.4%	65.3%	50.8%



<分析>

学校祭等での成功体験で、着実に協働力は育成されているが、
課題研究における高次の協働についてはその難しさを実感している。

5. 今後に向けて

NITS戦略（ミッション） ～新たな学びへ～



「NITS戦略～新たな学びへ～（2022年）」より

教職員の学び

∞

生徒の学び

∞

企業人材の学び

持続可能な
地域連携による
学びの創造



**マイスター・ハイスクール普及促進事業
福井県立武生商工高等学校 事業成果発表**

武生商業高校

1965年開校

武生工業高校

1959年開校



2020年4月 武生商工高校 開校

（ 商業キャンパス、工業キャンパスの2拠点での学校生活を行う ）

2025年4月 キャンパス統合

福井県立武生商工高校

Takefu Commercial and Technical High School

工業科 **機械創造科**

電気情報科

都市・建築科

商業科 **商業マネジメント科**

情報ビジネス科





統合を機に

One Campus, New Start

学科連携

学科の枠を越えた授業実践

2年生課題研究(1単位)

商業科と工業科が
統一した教育内容の
商工協働カリキュラム

カリキュラム開発に向けて

Towards curriculum development

地元への誇り、愛着

地域企業



武生商工高校



緑の中の楽園づくり
上屋敷工業株式会社
KAMIYASHIKI KOGYO CO.,LTD.



こしの都ネットワーク
Koshinomiyako Network



MAG 株式会社 増田空調

課題について

みなさんに考えてもらいたい課題

- ・『快適』とは何か？
- ・その答えをどう伝えるか？



W (株) ワカヤマ
WAKAYAMA CO.,LTD.

機能性塗料戦隊
ニンジャ

NJC コート

商品に新たな
価値や機能性を
つける特殊戦隊です



カリキュラム開発に向けて

Towards curriculum development

専門性の融合

商業科



ビジネスの視点



工業科



ものづくりの技術

カリキュラム開発に向けて

Towards curriculum development

学 期	実 践 内 容
1 学期 個人 【各クラス】	課題の設定① 各企業からのテーマ提案 情報収集① ブレストシート作成、情報収集、資料作成 整理・分析① 収集した資料を基にスライド作成 まとめ・表現① クラス内の小グループ全員が個人発表を実施
2 学期 グループ 【商工協働】	課題の設定② グループで問いと仮説を立てる 情報収集② 問いや仮説について、研究および調査を実施 整理・分析② 中間相談会を実施し、整理・分析の実施 まとめ・表現② 中間発表の実施、課題研究発表会の実施
3 学期 個人 【各クラス】	課題の設定③ 3年課題研究のテーマの設定 情報収集③ 問いや仮説を立て、情報収集の実施 整理・分析③ 収集した資料を基に、スライド作成 まとめ・表現③ 3年課題研究の実践内容を発表





生徒に身につけたい資質・能力

Our School's Original Rubric SHOKO-SKILL



考え抜く力

～疑問を持ち、考え抜く力～



課題発見力

計画力

創造力

チームで働く力

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



発信力

傾聴力

柔軟性

状況把握力

規律性

ストレスコントロール力

前に踏み出す力

～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



主体性

働きかけ力

実行力

社会人基礎力

専門性

地域理解力

ルーブリック

商工スキル



資質・能力の深化

One Campus, New Start

1人では考えられな
かった視点に気づき、
他者との関わりから、
より良いアイデアが
生まれた。

11/6 中間相談会

資質・能力の深化

One Campus, New Start

企業の方から、直接
アドバイスをもらえるこ
とや実社会における
本物の課題に向き合
うことは**教科書では**
学べない貴重な経験
ができた。

9/11 授業の様子

資質・能力の深化

One Campus, New Start

自分自身の**強み**を発見できた。

地域、社会のために
つながる『**誰かの役に立ちたい**』と思う気持ちが強くなった。

6/19 課題解決策発表

資質・能力の深化

One Campus, New Start

協働の中で「考える」「伝える」
「聴く」「協力する」スキルが身についた。

12/16 課題研究発表会

2 学期に身についた力

順位	身につけたい資質・能力	票数
1	発信力	35
2	創造力	34
3	課題発見力	32
4	傾聴力	29
5	主体性	17
6	柔軟性	15
7	地域理解力	14
8	計画力	13
9	専門性	10
10	実行力	5
11	状況把握力	5
12	規律性	3
13	働きかけ力	2
14	ストレスコントロール力	1

これから身につけたい力

順位	身につけたい資質・能力	票数
1	発信力	36
2	創造力	27
3	主体性	25
4	専門性	22
5	実行力	17
6	地域理解力	16
7	働きかけ力	16
8	課題発見力	15
9	計画力	14
10	柔軟性	8
11	傾聴力	7
12	状況把握力	6
13	ストレスコントロール力	5
14	規律性	1



次年度以降の課題

Learning Together : Schools and Communities

企業連携体制構築

企業と学校が、**双方向で情報共有し、方向性を決定**

新しい価値創出の場となり、
Win-Winの関係性

次年度の連携企業・テーマ選定

報償費等予算上の問題





実践的な教育モデルとして

through experiential learning

専門分野を越えた学びの融合

地域産業界との連携による
実践的な教育



課題研究の1つのモデルに

MHS普及促進事業の組織は？

事業運営委員

産業界

福井県商工会議所連合会
福井県商工会連合会
福井県中小企業団体中央会



大学

福井大学
福井県立大学



福井県

福井県産業労働部
福井県教育庁



職業系高校

拠点校(M・H)

拠点校推進委員

産学連携C / 産業実務家教員
市町自治体 / 地元産業界 etc.



他の職業系高校(県)

産業教育アドバイザー / 技術指導員
市町自治体 / 地元産業界 etc.



R6第1回 事業運営委員会 (2024.6.21)

MHS事業について全員で共有



坂井高校

手本となる先進的取組のモデル校

事業運営委員

福井県商工会議所連合会
福井県商工会連合会
福井県中小企業団体中央会
福井大学
福井県立大学
福井県産業労働部
福井県教育庁

拠点校推進委員

産学連携C + 坂井高校教職員
前田工織株式会社 / 坂井市役所

参加校

武生商工高校
科学技術高校 / 福井農林高校
福井商業高校 / 奥越明成高校
敦賀工業高校



R6第1回 事業運営委員会 (2024.6.21)

事業運営委員会



MH事業の説明と
授業・設備の参観

授業・設備見学



坂井高校コンソーシアム 研修会兼懇談会

地域産業界等との
エコシステム確立



坂井高校が取り組んだMH事業の成果を参加者全員で共有



R6第2回 事業運営委員会 (2024.7.9)

今後の方向性を全員で共有



武生商工高校

これから成長するモデル校

事業運営委員

福井県商工会議所連合会
福井県商工会連合会
福井県中小企業団体中央会
福井大学
福井県立大学
福井県産業労働部
福井県教育庁

拠点校推進委員

産学連携C + 武生商工高校教職員
NPO法人 丹南市民自治研究センター
NPO法人 今庄旅籠塾



参加校

坂井高校(オンライン)
科学技術高校 / 敦賀高校
敦賀工業高校

R6第2回 事業運営委員会 (2024.7.9)

事業運営委員会



商業と工業の
課題研究など

生徒による取組発表



協議(意見交換)

産学連携の
仕組みづくり



武生商工高校のこれまでの取組を共有し、今後の方向性を協議



R6第3回 事業運営委員会 (2025.3.13)

これまでの取組を全員で共有

事業運営委員

福井県商工会議所連合会

福井県商工会連合会

福井県中小企業団体中央会

福井大学

福井県立大学

福井県産業労働部

福井県教育庁

福井県庁



次年度の方角性の確認

参加校

坂井高校

武生商工高校



R7第1回 事業運営委員会 (2025.9.30)

これまでの取組を全員で共有

事業運営委員

福井県商工会議所連合会
福井県商工会連合会
福井県中小企業団体中央会
福井大学
福井県立大学
福井県産業労働部
福井県教育庁

福井県庁



年度途中の中間確認

参加校

坂井高校
武生商工高校



坂井高校コンソーシアム合同研修会(2025.6.27)

生徒・教員・企業が参加



坂井高校

手本となる先進的取組のモデル校

企業・自治体等

伴走者

コンソーシアム参加企業 10社

坂井市商工会

あわら市

福井県教育庁

拠点校推進委員

産学連携C + 坂井高校教職員

前田工織株式会社 / 坂井市役所

参加校

武生商工高校

福井商業高校 / 敦賀工業高校



坂井高校

生徒講演会および教員研修会(2025.11.11)

生徒・教員が地域連携のあり
方や授業づくりについて学ぶ



坂井高校

手本となる先進的取組のモデル校

講師

小浜市教育委員会

教育長 小坂 康之 氏

(元若狭高校教諭)



校外参加

武生商工高校

敦賀高校

福井商業高校

福井県教育庁

内容

生徒・・・「地域と連携した課題研究で目指すもの」

教職員・・・「これからの地域を担う人材育成に必要な学びとその支援」

海洋探究協働会議

R6 第1回 (2024.6.11)

R6 第2回 (2024.11.12)

R7 第1回 (2025.6.10)

自走する仕組みなどを共有



若狭高校

手本となる先進的取組のモデル校

自治体、大学

小浜市役所
おおい町役場
越前町役場
福井大学
福井県立大学
関西大学
新潟大学 etc.
福井県教育庁

参加校

武生商工高校
美方高校
敦賀工業高校
若狭東高校
坂井高校
敦賀高校



企業等

産業教育アドバイザー
ふくい水産振興センター
小浜海産物(株)
福井県漁業協同組合連合会
カキ養殖業者
宇久定置網有限会社
(一財)うみから etc.

海洋探究協働会議

R6 第1回 (2024.6.11)
R6 第2回 (2024.11.12)
R7 第1回 (2025.6.10)

海洋探究協働会議



自治体や企業と連携し
自走する仕組みを確立!

共育パートナーシップ



探究学習のアドバイス



地域の企業が
無償で協力!

地域と連携した自走可能なエコシステムを確立し、知見を共有



武生商工高校

2学年 課題研究発表会および拠点校推進委員会(2025.12.16)

2年生で取組んだ探究学習の共有



武生商工高校

成長するモデル校として発信

参加者

福井県中小企業団体中央会

こしの都ネットワーク

株式会社 増田空調

株式会社 ワカヤマ

上屋敷工業株式会社

伴走者

拠点校推進委員

産学連携C + 武生商工高校教職員

NPO法人 丹南市民自治研究センター

NPO法人 今庄旅籠塾

参加校

坂井高校

福井農林高校

若狭東高校

福井商業高校

県外視察

新潟

長野

富山



武生商工高校

2学年 課題研究発表会および拠点校推進委員会(2025.12.16)

2学年課題研究発表会



授業概要紹介



拠点校推進委員会



活動報告および、次年度に向けた各科の教育活動の展望を協議

福井県教育庁高校教育課の取組は？

高校教育課

マイスター通信発信



MHの取組を11校に横展開
県内全中学生にも紹介

全職業系高校に 産業教育AD配置



ADが各校の意識改革など
普及促進第一歩を支援

定例ミーティング開催



全職業系高校がMHの
取組や課題を共有

拠点校の知見や各校の取組を共有し、MH事業の域内普及・促進!

福井県教育庁 高校教育課の取組は？

高校教育課

マイスター通信で各校の取組と魅力を発信！



各校の取組を
11校で共有

全中学生と保護者へ
マイスター通信発信



定期的にMHの取組を職業系高校11校と全中学生・保護者に発信

福井県教育庁高校教育課の取組は？

高校教育課

全職業系高校で外部人材と連携できる仕組み

MHS拠点校

産学連携コーディネーター
産業実務家教員

他の職業系高校

産業教育アドバイザー
技術指導員



各校に地域との連携体制を構築するための懸け橋となる人材を支援

福井県教育庁高校教育課の取組は？

高校教育課

定例ミーティングで全職業系高校が共有と意見交換

参加者

職業系高校
産学連携C
県教育委員会
伴走者 etc.



第1回 2025年1月

坂井コンソーシアム活動とは、
MHSの取組み・現状



第2回 2025年8月

今の連携や取組を
組織化するには？

エコシステム確立の
ノウハウは、

教員の意識改革の
具体的な取組は、

各校の進捗状況等の共有や、今後について拠点校や伴走者から助言

定例ミーティング 参加者アンケートより

- 「どのような生徒を育てたいのか」という問いは、「教育はどこに向かうのか」という問いと根本は同じだと考えています。OECDのウェルビーイングやSDG'sの考え方をもっと多面的にとらえ、皆で共有できる勉強会などがあると良いと思いました。また、企業の方を登録するプラットフォームのやり方は本校でも参考にさせていただきたいと思います。
- 坂井高校の実践ケースが近い未来のモデルになっていくのかなと感じた。
- 企業との連携を重視するゆえに、事務局を進路支援部内に置き、求人のやり取りがある企業との連携・関係を構築していくことが印象的でした。
- 他校の実践事例が参考になりました。

第2回 2025年8月

福井県教育庁高校教育課の取組は？

高校教育課

2会場で展示

ふくい産業教育フェアでMHSを普及



MHSの取組をポスター掲示



拠点校の知見や取組を参加者や県民に普及！

福井県教育庁高校教育課の取組は？

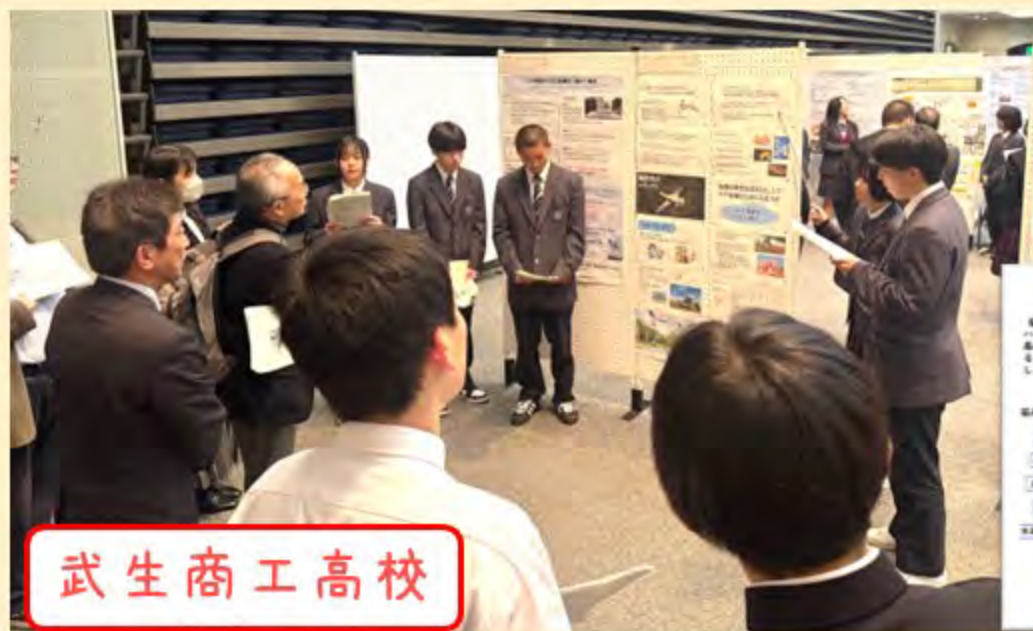
高校教育課

専門学科・普通科の生徒が参加

高校生探究フォーラムでMHSの取組みを普及



坂井高校



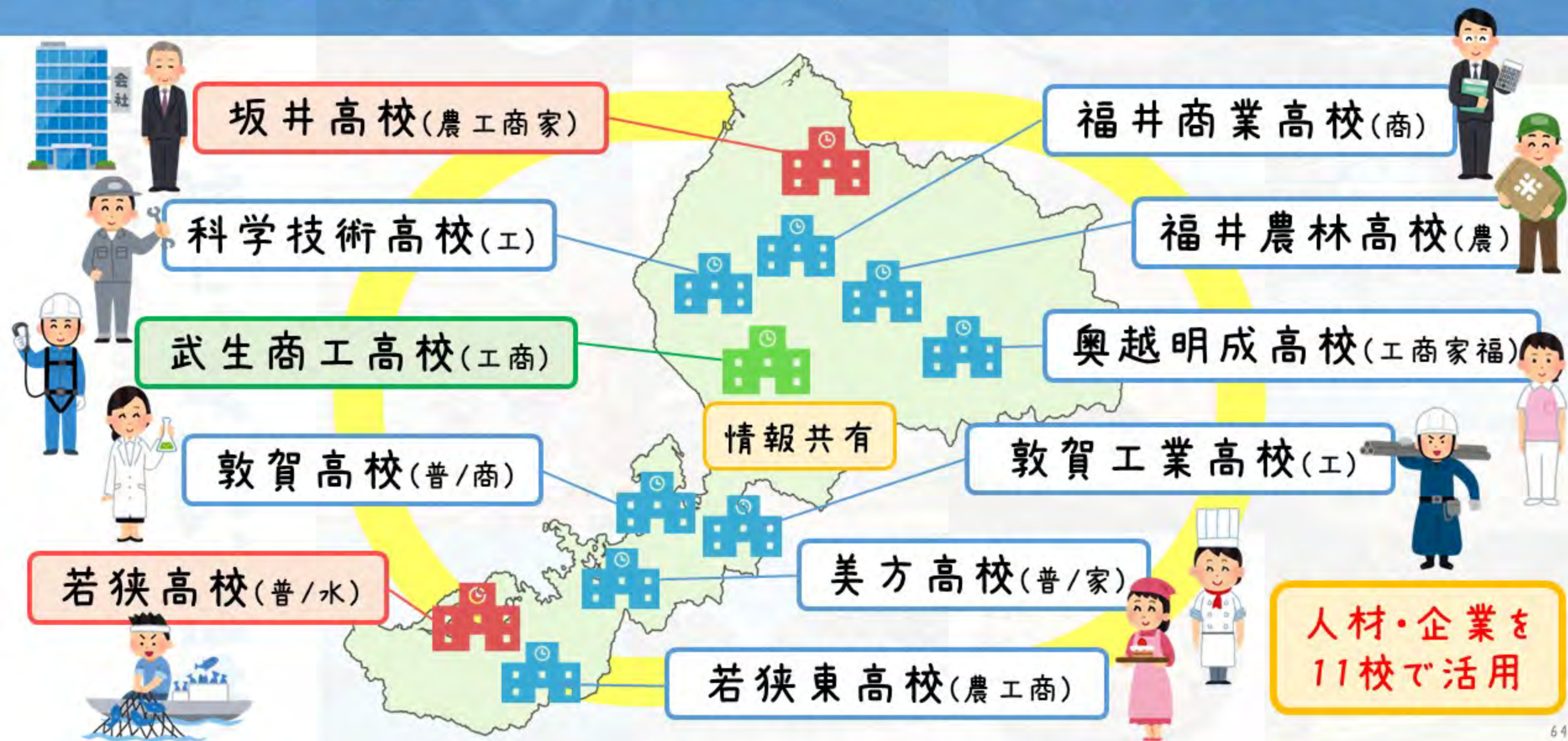
武生商工高校

配付チラシ

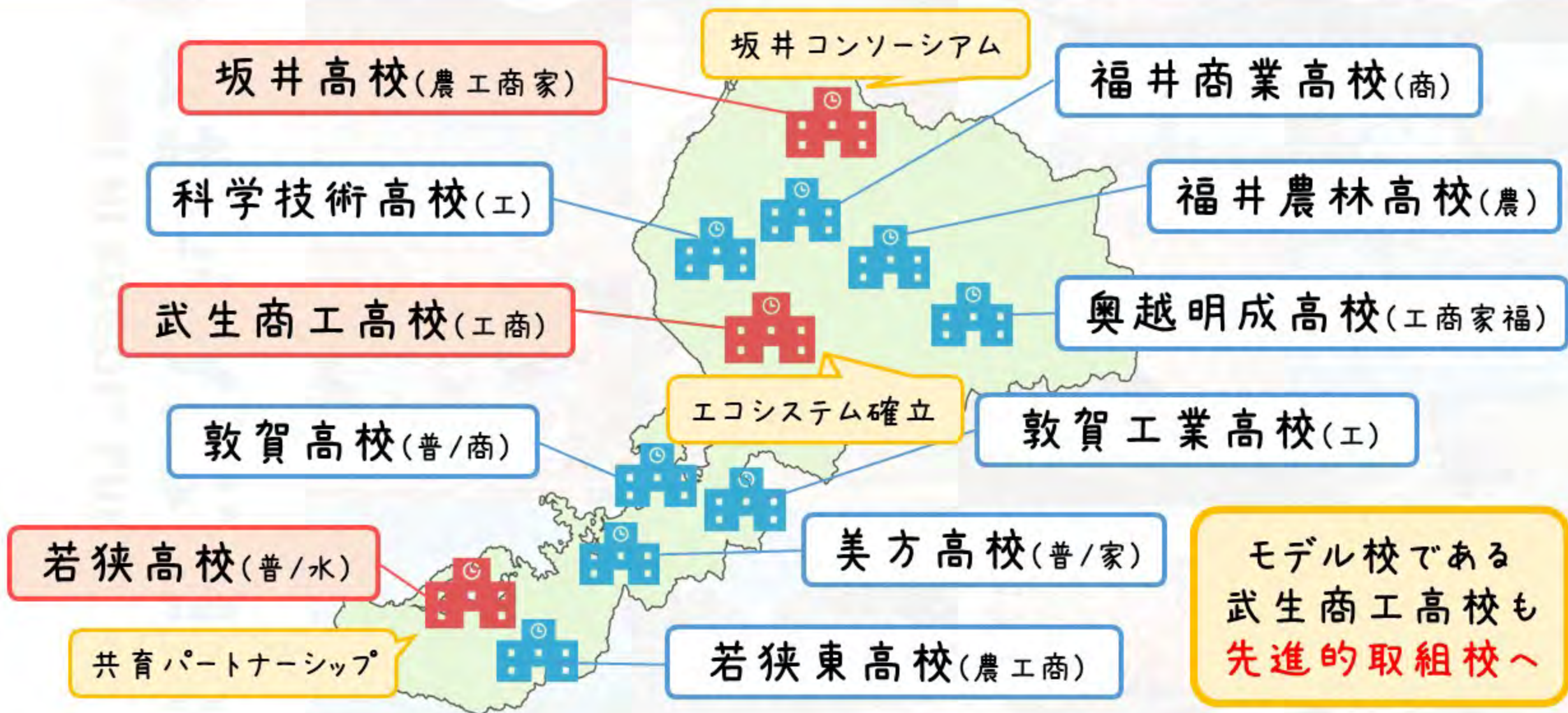


連携企業との課題研究の成果を発信!

MHS普及・促進事業の今後とは？



MHS普及・促進事業の今後とは？



MHS普及・促進事業の今後は?



福井県の職業系高校は？

坂井高校(農工商家)

福井商業高校(商)

科学技術高校(工)

福井農林高校(農)

武生商工高校(工商)

奥越明成高校(工商家福)

敦賀高校(普/商)

一致団結

敦賀工業高校(工)

若狭高校(普/水)

美方高校(普/家)

若狭東高校(農工商)

11校

マイスター・ハイスクールで描く
福井の地域人材育成
デザイン